

## 2021年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年7月30日

上場会社名 株式会社キャリアデザインセンター 上場取引所 東  
 コード番号 2410 URL <https://cdc.type.jp/ir/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼会長 (氏名) 多田弘實  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画局長 (氏名) 西山裕 TEL 03-3560-1601  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2021年9月期第3四半期の業績（2020年10月1日～2021年6月30日）

#### （1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2021年9月期第3四半期	6,272	—	83	—	96	—	893	—
2020年9月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第3四半期	132.41	—
2020年9月期第3四半期	—	—

- （注）1. 2020年9月期第3四半期は連結業績を開示しておりましたが、2021年9月期第3四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2020年9月期第3四半期の経営成績（累計）及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2021年9月期第3四半期	5,724	3,914	68.4	579.90
2020年9月期	4,318	3,155	73.1	467.49

（参考）自己資本 2021年9月期第3四半期 3,914百万円 2020年9月期 3,155百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2021年9月期	—	0.00	—	—	—
2021年9月期（予想）	—	—	—	35.00	35.00

- （注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有
2. 2020年9月期期末配当の内訳 普通配当20円00銭
3. 2021年9月期期末配当の内訳 普通配当30円00銭 特別配当5円00銭
4. 配当予想の修正については、本日（2021年7月30日）公表いたしました「通期個別業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2021年9月期の業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	9,344	—	139	—	152	—	940	—	139.28

- （注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
2. 2021年9月期第3四半期会計期間より連結決算から非連結決算に移行したため、対前期増減率は記載しておりません。
3. 業績予想の修正については、本日（2021年7月30日）公表いたしました「通期個別業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期3Q	7,054,400株	2020年9月期	7,054,400株
② 期末自己株式数	2021年9月期3Q	304,368株	2020年9月期	304,368株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期3Q	6,750,032株	2020年9月期3Q	6,750,072株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

当社は、2021年4月1日に完全子会社である株式会社キャリアデザインITパートナーズを吸収合併したことに伴い、2021年9月期第3四半期より連結決算から非連結決算へ移行しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
第3四半期累計期間 .....	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は2021年4月1日付で当社の完全子会社である株式会社キャリアデザインITパートナーズを吸収合併（簡易合併・略式合併）したことに伴い、当第2四半期累計期間までは連結決算でありましたが、当第3四半期累計期間より非連結決算へ移行いたしました。前第3四半期連結累計期間において四半期連結財務諸表を作成していましたが、上記により当第3四半期累計期間より四半期連結財務諸表を作成していないため、比較分析は行っておりません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（2020年10月1日～2021年6月30日）における我が国経済は、2021年6月に発表された日銀短観では大企業・製造業の景況感は改善しているものの、米中貿易摩擦を背景とした海外経済の不確実性に加え、新型コロナウイルス感染症の再拡大により依然として先行き不透明な状況が続いております。2021年5月の有効求人倍率は1.09倍と伸び率は前回調査から横ばいで推移しており、前述の景気の不透明さを受けて採用活動に対して慎重な姿勢を見せる企業は多いものの、一方でITエンジニアの案件を中心に採用を再開する企業も見られました。

このような状況において、当第3四半期累計期間における当社の売上高は、計画を大幅に上回る結果となりました。2021年4月25日に新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言が再発令されたことにより、企業の採用意欲は低下傾向となり、当社の業績も影響を受けたものの、特にメディア情報事業における「エンジニア」マーケットの売上高が改善傾向を示し、前年同期比114.2%となりました。その他の事業においても、IT業界を中心に採用需要は回復基調を示したことにより、取引社数が増加し計画を上回って推移しました。

コスト面につきましては、今期は広告宣伝費を大幅に抑制する計画としておりましたが、売上高が計画を上回って推移したことから、当第3四半期累計期間において約1.5億円の追加投資を実施し、2021年4月・5月に、『type』『女の転職type』にて、初のテレビCMを実施いたしました。その他、当社が運営するWebメディア『エンジニアtype』にてエンジニア向けにオンラインカンファレンスを実施するなど、typeブランドのブランディングと登録者の獲得を強化することにより業績の回復を図りました。また、当第3四半期累計期間における経常利益については、前述の通り広告宣伝に投資を行ったものの想定以上に売上高が増加し、計画を上回る結果となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は、6,272,411千円、利益については、営業利益83,553千円、経常利益96,781千円、四半期純利益893,780千円となりました。

なお、参考情報として上記の業績に株式会社キャリアデザインITパートナーズの第2四半期までの業績を加えた場合の売上高は、8,927,499千円、利益については、営業利益284,860千円、経常利益303,975千円となりました。

### <事業の種類別の業績>

当社は人材サービス事業の単一セグメントでありセグメント情報の記載を省略しているため、事業の種類別に記載しております。

#### ①メディア情報事業

メディア情報事業は、Web求人広告・適職フェア等の商品・サービスを展開しております。

当第3四半期累計期間におきましては、売上高は計画を上回る結果となりました。新規案件の開拓強化を進めたことにより「エンジニア」マーケットの売上高は好調に推移しており、「営業」、「女性」マーケットにおいても回復基調を示しております。マーケット別の売上高は「エンジニア」マーケット前年同期比14.2%増、「営業」マーケット同6.4%減、「女性」マーケット同6.6%減となりました。なお、集客面においては、スマートフォンアプリやAIを搭載した求人提案機能の改修・強化をはじめ、新たな集客施策を実施したことにより『type』『女の転職type』ともに登録者ならびに応募者獲得は計画通りに推移しております。また、広告宣伝費は大幅に削減する計画としておりましたが、想定よりも売上高が計画を上回って推移したことから、テレビCM等約1.5億円の追加投資を実施し、登録者の獲得を強化いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間におけるメディア情報事業の売上高は2,881,326千円となりました。

#### ②人材紹介事業

人材紹介事業は、ご登録頂いた求職者の方に最適な求人案件をご紹介します登録型人材紹介を運営しております。

当第3四半期累計期間におきましては、売上高は計画を上回る結果となりました。「女性」マーケットにおきましては成約件数が伸び悩んだものの、「エンジニア」マーケットは回復傾向にあり、また「営業」マーケットの成約件数が堅調に推移いたしました。一方で、登録者獲得につきましては、引き続き競合他社との競争が激化しており、新規登録者はやや鈍化しておりますが、各種経路からの登録獲得を強化し、成約件数の増加を図って参ります。

以上の結果、当第3四半期累計期間における人材紹介事業の売上高は1,465,070千円となりました。

### ③新卒メディア事業

新卒メディア事業は、新卒者を対象とする就職イベント・情報誌等の商品・サービスを展開しております。

当第3四半期累計期間におきましては、取引社数が増加し、売上高は計画を上回る結果となりました。主に新規案件の開拓を強化したことと、2023年度卒業予定の学生を対象としたイベントの拡販が順調に推移し、取引社数が増加したことによるものです。イベントは引き続きオンラインでの開催をするとともに、求人企業の個別の採用ニーズに合わせた個別セミナーの販売も順調に推移いたしました。

集客面におきましては、イベントをオンライン化したことにより、前期までは東京・関西での集客が中心となっておりましたが、全国での集客の強化につながり、好調に推移いたしました。また、新しい取組みとしてオンラインで開催した「女性×IT」をテーマに掲げたインターンシップイベントではIT・メーカー・コンサルなど、様々な業界でテクノロジーに強みを持つ企業にご参加いただき、集客は好調に推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における新卒メディア事業の売上高は397,637千円となりました。

### ④新卒紹介事業

新卒紹介事業は、ご登録頂いた学生の方に最適な新卒採用案件をご紹介します登録型新卒紹介を運営しております。

当第3四半期累計期間におきましては、売上高は計画を大幅に上回る結果となりました。求人案件と登録者の獲得が順調に推移しており、2022年度卒業予定の学生についてはIT業界の案件を中心に成約件数が増加し、2023年度卒業予定の学生は就職活動が早期化の傾向を示しており、案件の開拓を強化したことにより成約件数が増加しました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における新卒紹介事業の売上高は111,650千円となりました。

### ⑤IT派遣事業

IT派遣事業は、当社にご登録頂いた登録者の中から、求人企業の採用ニーズに最適な人材を派遣する一般労働者派遣を運営しております。

当第3四半期累計期間におきましては、売上高は計画を上回る結果となりました。引き続き強みとする「エンジニア」マーケットを中心に案件獲得を強化したことにより、派遣スタッフの新規稼働人数が好調に推移いたしました。また、登録者獲得については引き続き各登録経路を強化したことにより、新規登録者は順調に推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間におけるIT派遣事業の売上高は1,416,726千円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産

#### (流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は3,935,716千円となり、前事業年度末に比べ1,372,676千円増加いたしました。これは主に売掛金が835,982千円増加、現金及び預金が689,038千円増加し、その他が139,948千円減少したことによるものであります。

#### (固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は1,789,209千円となり、前事業年度末に比べ34,135千円増加いたしました。これは主に無形固定資産が104,678千円、有形固定資産が1,239千円増加、投資その他の資産が71,782千円減少したことによるものであります。

#### (流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は1,606,900千円となり、前事業年度末に比べ623,276千円増加いたしました。これは主に短期借入金が増加し、未払費用が407,545千円増加、その他が289,480千円増加、未払法人税等が16,688千円増加、賞与引当金が117,457千円減少、買掛金が1,727千円増加したことによるものであります。

#### (固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は203,702千円となり、前事業年度末に比べ24,756千円増加いたしました。これは主に退職給付引当金が増加し、資産除去債務が47千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は3,914,323千円となり、前事業年度末に比べ758,780千円増加いたしました。これは主に利益剰余金が758,780千円増加したことによるものであります。

(3) 個別業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期の通期個別業績予想および期末配当予想につきましては、本日公表の「通期個別業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

また、当社は2020年9月期を初年度とする中期経営計画“Beyond200”を公表し、最終年度となる2026年9月期において、売上高200億円、経常利益24億円、ROE15%を計画としております。詳細は本日公表の「中期経営計画の策定に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,696,287	2,385,325
売掛金	559,275	1,395,258
仕掛品	9,640	—
その他	301,079	161,131
貸倒引当金	△3,243	△5,999
流動資産合計	2,563,039	3,935,716
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	179,475	177,856
その他（純額）	11,537	14,396
有形固定資産合計	191,013	192,252
無形固定資産		
ソフトウェア	781,443	945,717
その他	156,064	96,469
無形固定資産合計	937,507	1,042,186
投資その他の資産		
関係会社株式	40,000	—
繰延税金資産	270,597	238,794
敷金及び保証金	266,418	264,461
その他	50,409	51,663
貸倒引当金	△872	△149
投資その他の資産合計	626,552	554,770
固定資産合計	1,755,073	1,789,209
資産合計	4,318,113	5,724,926

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	8,567	10,295
短期借入金	25,000	142,000
1年内返済予定の長期借入金	20,032	5,038
未払金	466,255	388,484
未払費用	191,777	599,322
未払法人税等	—	16,688
株主優待引当金	—	1,056
賞与引当金	155,821	38,364
その他	116,169	405,650
流動負債合計	983,623	1,606,900
固定負債		
退職給付引当金	159,142	183,851
資産除去債務	19,803	19,851
固定負債合計	178,946	203,702
負債合計	1,162,570	1,810,602
純資産の部		
株主資本		
資本金	558,663	558,663
資本剰余金		
資本準備金	211,310	211,310
その他資本剰余金	144,018	144,018
資本剰余金合計	355,328	355,328
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	2,482,771	3,241,551
利益剰余金合計	2,482,771	3,241,551
自己株式	△241,219	△241,219
株主資本合計	3,155,543	3,914,323
純資産合計	3,155,543	3,914,323
負債純資産合計	4,318,113	5,724,926

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
売上高	6,272,411
売上原価	2,130,920
売上総利益	4,141,490
販売費及び一般管理費	4,057,937
営業利益	83,553
営業外収益	
受取利息	7
解約手数料	4,237
その他	3,583
受取給付金	6,000
営業外収益合計	13,828
営業外費用	
支払利息	600
営業外費用合計	600
経常利益	96,781
特別利益	
抱合せ株式消滅差益	839,363
特別利益合計	839,363
特別損失	
固定資産除却損	505
特別損失合計	505
税引前四半期純利益	935,638
法人税、住民税及び事業税	1,776
法人税等調整額	40,081
法人税等合計	41,858
四半期純利益	893,780

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当社では、新型コロナウイルス感染拡大は2021年9月期以降徐々に収束するものという仮定のもと、当第3四半期会計期間における繰延税金資産の回収可能性の判断や減損損失の判定等の会計上の見積りを行っております。

しかしながら、現時点での収束時期を正確に見積ることは困難であることから、上記の仮定に変化が生じた場合には将来における財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

なお、前期末に記載した内容から、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当第3四半期累計期間（自 2020年10月1日 至 2021年6月30日）

当社は、人材サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。